

どうぶつひみつクイズをつくろう

～ 本でしらべて、本で答えをさがそう ～

2年 国語
「ビーバーの大工事」
資料の活用・利用指導

ねらい

- 動物のひみつを本の中から見つけ、疑問文とその答えの文を書くことができる。
- 動物の本は4類であることを知り、ラベルを見て調べる本の請求記号を書くことができる。

学 習 展 開

- ① 図書館に保存していた昨年度の作品成果物「動物ひみつクイズ」をプロジェクターで投影して動物クイズをし、興味づける。
- ② 司書教諭が動物の本のブックトークをする。動物の本は4類の本であることを押さえる。
- ③ クイズにしたい動物を決め、図書の中から自分が初めて知る動物の秘密を探す。
- ④ 司書教諭と学校司書は、T2、T3として情報収集に困っている児童を支援する。
- ⑤ 担任が、疑問文とその解答文の文型やワークシートの書き方を指導する。
- ⑥ 調べたことをクイズ（疑問文と解答文）にしてワークシートに記入する。



クイズにしたい事柄を調べる2年生

★指導のポイント

- ◆ 4類の本を使用するので、動物、昆虫の本の分類についてふれ、3年での分類指導につなげる。
- ◆ 図書館で学習し、4類の書架を確認する。
- ◆ ワークシートに、請求記号を記入するラベル欄を設ける。
- ◆ どうぶつひみつクイズ大会をし、図書を使って解答を探すための調べ学習を単元の後半に行う。

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は教員と相談して、2年生が自力で読める資料準備を行う。
- 学校司書は作品成果物を提供し、保存する。
- 司書教諭は、クイズの紹介を行う。
- 司書教諭と担任はワークシートの形式について事前に話し合って作成する。
- 個別な配慮が必要と予想される児童について、事前に担任と打合せをしておく。

資料

「どうぶつの口」、「どうぶつの目」他シリーズ（偕成社）、「くべてみよう！どうぶつのお赤ちゃん」シリーズ（ポプラ社）、「おどろきと感動の動物の子育て」シリーズ（学習研究社）、「どうぶつのおやこ」シリーズ（岩崎書店）、「パンダの手には、かくされたひみつがあった！」/山本省三（くもん出版）他、動物の図書